

戦没者遺骨収集事業の概要

令和元年12月

一般社団法人 日本戦没者遺骨収集推進協会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-5-21 寿ビル5階

電話 03-3581-2755 FAX 03-6206-1880

ホームページ <http://jarrwc.jp/>

一般社団法人 日本戦没者遺骨収集推進協会

一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会（以下「本協会」という。）は、国の行う戦没者の遺骨収集及び関連する事業に対し、必要な協力を行うことによりこれらの事業の促進を図り、またこれらの事業を通して遺骨収集に関する諸外国の理解の促進及び国際親善の増進に寄与することを目的に平成28年7月1日に設立しました。

平成28年8月19日、本協会は厚生労働省から遺骨収集業務を行う唯一の法人として指定を受けて、厚生労働省の指導の下、本協会の社員団体の協力を得て戦没者の遺骨の収容や本邦への送還を行い、戦没者の遺骨収集を推進します。

本協会が遺骨収集を実施している主な地域



設立趣意書

先の大戦が終わり、70年余の歳月が流れました。激戦のさなか、隣で倒れた戦友に「きっと迎えに来るから」と約束してその場を離れざるを得なかった戦士も多くは亡くなり、あるいは卒寿を迎えました。

物心ついたころ、父は戦場にありと聞かされた幼子は、父を睨に見つつも、父が帰ることはなく、遺児となり、いまや高齢者と呼ばれる年齢に達してしまいました。

戦後、焦土から立ち上がった日本は、たちまち先進国と称されるまでの復興を遂げましたが、戦後処理は生存者中心にならざるを得ず、戦没者の遺骨について胸を痛める遺族や戦友も多かったのです。

そんな遺族や戦友に、ここへ来て、一条の光明が射してきました。平成28年3月、国会は全会一致で、戦没者の遺骨収集を推進する法律を成立させました。国が責任を持って、概ね10年の集中期間を設けて遺骨収集に力を注ぐことが謳われ、国の計画に沿って、国から事業委託を受けて遺骨収集に従事する団体を指定し、その団体が集中して効率的に遺骨収集事業に取り組み、成果をあげようというものです。

遺族中心の団体、戦友と遺族が一緒になった団体、戦後生まれながら戦死者の心情に思いをいたし崇敬の念を持って活動する団体が、ここに結集しました。

今まで自主的に、あるいは国の遺骨収集事業に協力し国の内外で活動してきた12の団体が、これまでの経験、知識をもとに、結束、連携し、経験則を共有しながら、この事業を進めるならば、必ずや成果が上がるものと確信します。

我々は、一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会を設立し、国の指定法人を目指します。指定を受けた後は、内外の情報を精査してその地に適切な派遣団を編成し、国費を効果的に活用して機動的に遺骨の収容、帰還に全力を傾け、内外110万余の還らざる遺骨を1柱でも多くお迎えすることにより、英霊の慰霊と顕彰に尽くし、ご遺族や関係者の期待に応えることを、ここに、決意いたします。

平成28年7月1日

社員団体

一般財団法人 日本遺族会	硫黄島協会
公益財団法人 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会	特定非営利活動法人 JYMA日本青年遺骨収集団
一般財団法人 全国強制抑留者協会	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会
東部ニューギニア戦友・遺族会	小笠原村在住硫黄島旧島民の会
全国ソロモン会	特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会
水戸二連隊ペリリュー島慰霊会	公益社団法人 隊友会
特定非営利活動法人 太平洋戦史館	

役員

会 長	尾辻 秀久	参議院議員			
副会長代表理事	眞野 章	一般社団法人 全国国民健康保険組合協会会長	副会長	水落 敏栄	一般財団法人 日本遺族会会長・参議院議員
専務理事 (代表理事)	竹之下 和雄	(専従役員)			
理 事	伊藤 隆	公益財団法人 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会 常務理事兼事務局長	理 事	岩渕 宣輝	特定非営利活動法人 太平洋戦史館会長理事
理 事	森本 浩吉	東部ニューギニア戦友・遺族会 事務局長	理 事	寺本 鐵朗	硫黄島協会会長
理 事	住田 陸快	全国ソロモン会副会長	理 事	赤木 衛	特定非営利活動法人 JYMA日本青年遺骨収集団理事 (代表)
理 事	影山 幸雄	水戸二連隊ペリリュー島慰霊会 事務局長	理 事	渡邊 榮樹	特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会顧問
監 事	畔上 和男	一般財団法人 日本遺族会専務理事	監 事	井上 達昭	特定非営利活動法人 JYMA日本青年遺骨収集団理事

事業の概要

①公文書館での資料調査



②現地調査事業



現地での情報収集
(証言等の聞き取り)

事業PR活動
遺骨情報に基づき試掘

③遺骨収集事業

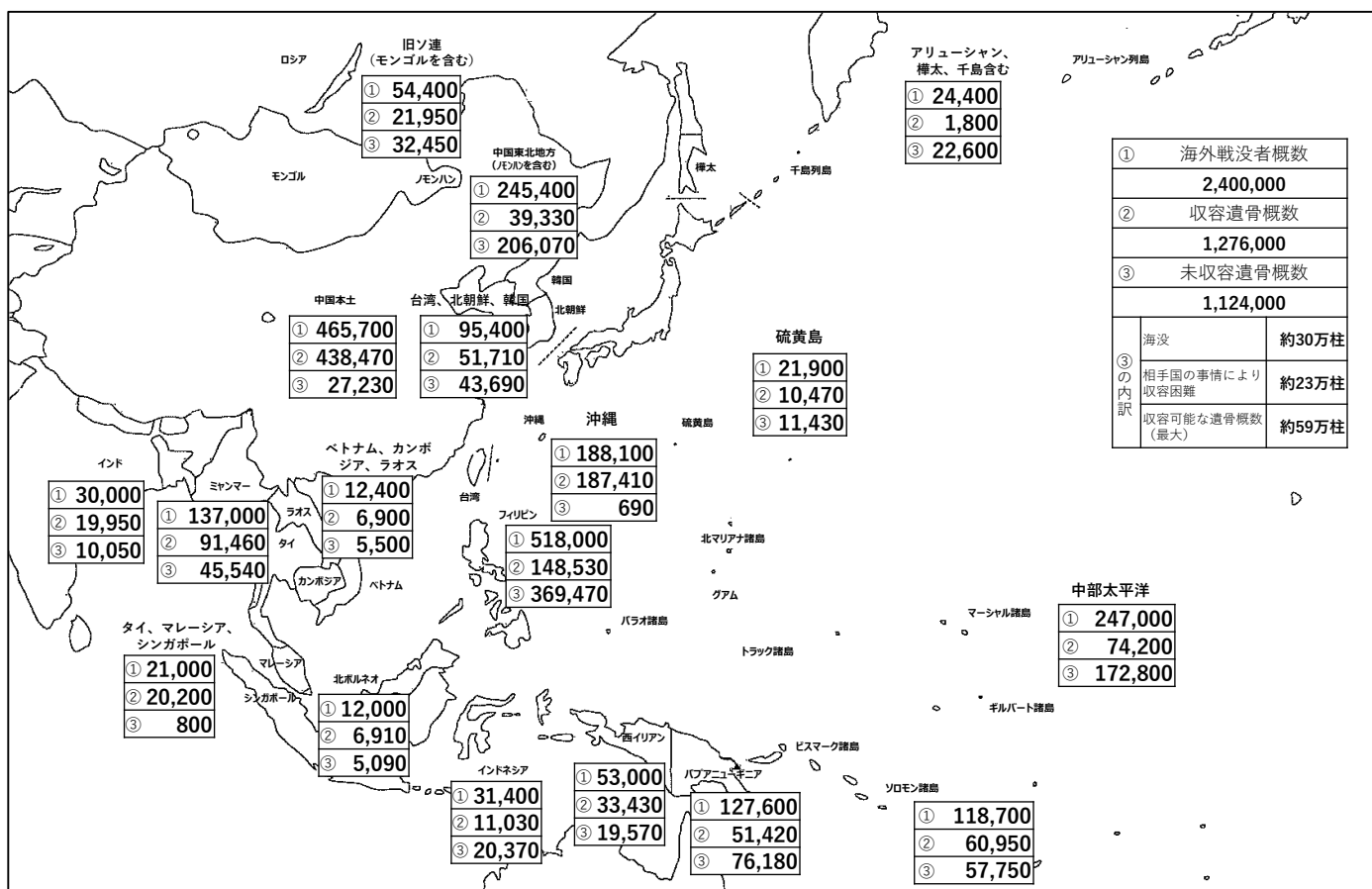


現地での追悼式



④遺骨引渡式

地域別戦没者遺骨収容概見図（令和元年10月末現在）



平成28年度以降の遺骨送還実績（令和元年度10月末現在）

地域	詳細地域	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	地域別 計
樺太	－		18	2		20
旧ソ連	－		209	112	61	382
インド	－		3			3
ミャンマー	－	10	12	30		52
東部ニューギニア	－	112	83	42		237
ビスマーク・ソロモン諸島	ビスマーク諸島	173	315	406		894
	ソロモン諸島	150	137	88		375
中部太平洋	マリアナ諸島		39		249	288
	パラオ諸島	15	79	45	5	144
	トラック諸島	11		3		14
	マーシャル諸島			48		48
硫黄島	－	19	17	42	7	85
	総計	490	912	818	322	2,542

※推進協会が実施した遺骨送還実績である。